

後志管内学校図書館活性化推進研修会報告書

北海道教育庁後志教育局

学校図書館の効果的な活用や魅力ある学校図書館づくりを目的とした「学校図書館活性化推進研修会」を9月9日（火）に倶知安町立倶知安中学校を会場に開催しました。

管内の各市町村から学校関係者をはじめ、市町村教育委員会担当職員、指定管理者など37名参加し、講義や事例発表、演習等を通じて、子どもにとって最も身近な図書館である学校図書館の一層の充実に向けた研修を実施しました。

講義 「今、求められている学校図書館」

北海道教育大学非常勤講師 大久保 雅 人 氏

○昭和25年に創立した「全国学校図書館協議会」（通称S L A）では、様々な事業の実施や出版物の発行を行っており、**学校図書館の運営に役立つ資料等が豊富にあるため、積極的に活用してほしい。**

○本年6月に成立した「学校図書館法の一部を改正する法律」により、「**学校司書の法制化**」が実現することになった意義は大きい。

○今回の法改正は、すべての学校への「**司書教諭**」と「**学校司書**」の配置に向けた**新たなスタート**となり、今後の動向に注目したい。

○文部科学省が作成したリーフレットには「**学校図書館を充実させるための10のチェックポイント**」が示されており、各校の取組の参考にしてほしい。

○人間が生涯にわたって生きていくために必要な根源的な力（キーコンピテンシー）を育成するためには、「**言語活動の充実**」が必要であり、そのためには、**思考力・判断力・表現力を駆使しながら、子どもたちが学習や授業に参加できるようにすることが求められている。**

○こうした取組には、学校図書館の活用が必要であり、学級担任や担当職員のみならず、**校長のリーダーシップ**のもと、学校体制として理解を深めることが重要である。

○子どもたちの望ましい読書環境づくりに向けては、学校図書館と公共図書館との連携が不可欠である。この場合の「**連携**」の捉え方は、「**事業や研修・研究などで計画段階から主体的に参加し、構成**

団体として責任を持って協力し、役割を受け持ち、資源を共有し、人的交流を図る」といった、いわゆる『**協働**』の取組を地域ぐるみで進めていくことである。



子どもたちが本を好きになり、読書に親しんでいくために欠かせない3つのポイント

- ①**本のある場に居ること～場への参加と共有**
- ②**本の読み聞かせをしてもらう経験があること～様々な本の世界を他者の読み声で聴く**
- ③**本を読み合い語り合う経験があること～共に読書を楽しむ仲間がいる**

事例発表 「学校図書館の効果的な活用」

蘭越町コミュニティプラザ花一会嘱託職員 若林 由美子 氏
蘭越町立蘭越小学校教諭 桑原 奈穂美 氏

- 「連携」には、行政が積極的に関わることが重要であり、今まであまり機能していなかったところを活性化させようとするとき、イベント的な取組ではなく、**日常的な活動の継続性が必要**である。
- そうした継続的な活動を支える「システム作り」と、そのシステムを支える「人材育成」が、学校図書館を活性化させる“成功の鍵”である。
- 蘭越町では、蘭越小学校と花一会の連携の3つの柱として、次の事業を行い、子どもたちの読書推進を図っている。



①みんなの本だな事業（平成12年から）

- ・平成12年の「子ども読書年」を契機に始まった事業。年2回を基本に、各学年の授業時間において、読み聞かせやブックトークを行い、その後、子どもたちが自由に本を選び、それが学級文庫になる、という取組。事業は図書ボランティアの方々の協力を得て実施。
- ・授業時間に行うことにより、担任の先生に取組を理解してもらうとともに、全ての担任と図書館職員との信頼関係を築くことができる。

②学校図書館巡回派遣事業（平成24年から）

- ・図書館に必要な**3つの要素**は「人（専門的な知識を持った職員）」「資料（子どもたちが読みたいと思う資料、学習に活用できる資料）」「空間（求める資料が探しやすく整理されている、子どもたちにとって居心地の良い空間）」である。
- ・週1回の花一会職員の学校への巡回を開始。学校図書館の改装・整備、図書館を使った授業実践、図書委員会活動へのアドバイス・支援、町内学校・花一会・道立図書館資料の利用などの取組を実施。

③学校図書館図書センター事業（平成25年から）

- ・上記2つの事業により、花一会との連携に対して、学校からの期待が高まり、「**町内の資料を有効に活用できるように一元化してほしい。**」との声があがり、小学校を対象に事業が開始。
- ・学校図書館の資料の選書を花一会司書が支援し、資料購入から受入手続きの全てを花一会が行うため、**担当する先生の事務の軽減**が図られている。また、週1回の資料購入が可能となり、**子どもや先生のリクエストに応えやすい環境**となった。

○連携の取組を進めていく上で、「聞くこと」と「伝えること」を大切にしている。アンケートの実施、

担当者会議の開催、新着図書のお知らせなどを通して取り組んでいる。

○学校図書館と花一会の連携により、学校図書館全体の貸出冊数や子ども一人当たりの貸出冊数が大きく増加している。



・子どもたちは目新しいものに興味を示すが、その後の活動が変わらなければ元に戻ってしまう。図書館は、常に進化させていくものである。

・単元によっては、担任だけではやりにくいものもあり、公共図書館の協力が必要なときがある。

説明・演習 「魅力ある学校図書館づくり」

北海道立図書館総務企画部企画支援課企画主幹 桑原裕子氏

○子どもが集まるような図書館にリニューアルするポイントは、
①図書の更新、②ディスプレイの工夫、③表示・装飾の工夫、
④レイアウトの工夫、の4点が挙げられる。

○図書の更新については、全国学校図書館協議会が示している
「学校図書館図書廃棄規準」などを参考に、定期的に点検を
行い、古い本は除架（書棚から取り除く）する必要がある。

○除架して空いたスペースには、読ませたい本の表紙を見せる
ようにディスプレイするなどの工夫をすることが大切である。

○図書館の入り口や掲示板も、開館時間を分かりやすく表示したり、学年ごとの読書冊数を掲示したりするなどの工夫をする。



○子どもが本を手に取りやすいよう、一番上の棚には本を置かないようにしたり、ソファやじゅうたんを設置し、リラックスして読書できる環境をつくるなどの工夫も考えられる。

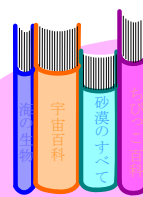
○学校図書館は、子どもが生き生きとした学校生活を送れるようにするため、また、ストレスの高まりや生徒指導上の諸問題へ対応するための「心の居場所」としての機能があることを理解する必要がある。



西ドイツやザイールが
今もあると思われるとこ
まるなあ…



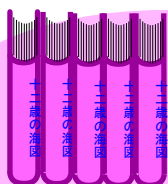
そのままにせず、思い切って廃棄するか、
歴史的資料としての活用を！



背表紙が日に焼けて、
読みにくくなってる…



カバーを取って、日焼けしていない背表紙を
出しましょう！



同じ本が5冊もあ
る…



子どもの手が届きにく
い上段にも本がある…

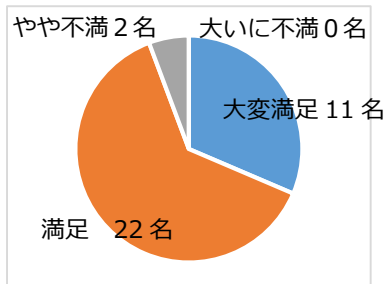


1冊だけにして、空いたスペースに表紙
を見せるように置いてほしいが！

上段には本を置かないようにして、ディスプレイ
を工夫してほしい！

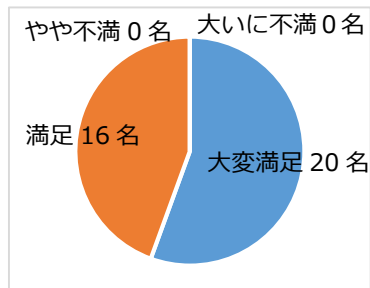
アンケート結果・参加者の感想

【講義】



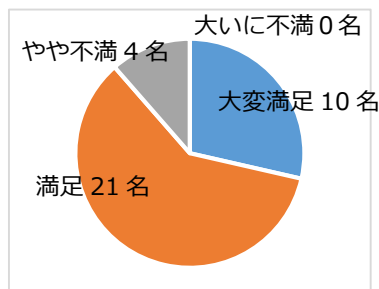
- これからの学校図書館運営について大切なポイントを教えていただいた。
- 学校図書館法改正を巡る状況や、学習指導要領に位置付けられる図書館の役割、また知の拠点としての図書館について体系的に学ぶことができました。
- 学校図書館にいま必要なことや、自分が何をしなければいけないのか少し見えた気がします。
- 時間が短かったのが残念です。

【事例発表】



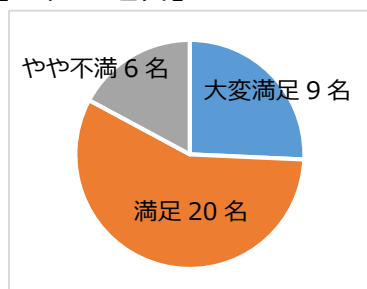
- 地域と学校図書館がうまく関係を取って、子ども達の読書環境を整えている蘭越町は素晴らしいと思いました。私の町では、地域図書館が整っていないので、まずは委員会活動でできることから始めていきたいと思います。
- 町の中で、こんなに積極的に連携して実践していることに驚きました。
- 中学校での取組例があれば聞いてみたかったです。
- 蘭越町の取組が管内に広がってほしいと感じた。

【説明・演習】



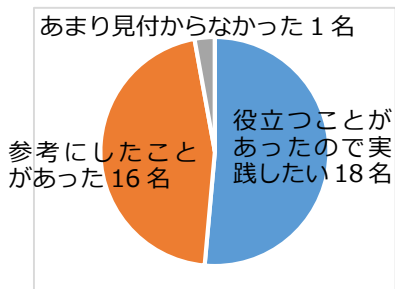
- 図書館の環境改善について、事例を通じて学ぶことができ大変参考になった。
- 自分の学校の図書室も、本の整理からやっている状態なので、リニューアルの仕方はとても役立ちました。
- 実際に除架を行ってみて、本当に外して良いのか迷いましたが、作業ですっきり整ったので、除架の必要性を実感しました。是非、うちの学校も改装したいです。
- このような作業があるのなら、事前に連絡があるとありがたいです。

【日程・運営】



- 分かりやすく講義・説明していただき、良かったと思います。
- 図書室の改造は、もう少し時間が必要だったが、大旨適切な配分だったと思う。
- 長期休業前に実施していただけたら、休業中にすぐに取り組みやすいのではないかと思います。
- ホコリの中で作業するのなら、持ち物や服装の連絡をして、動きやすいようにした方がよい。(軍手やエプロン、マスクなど)

【成果】



- 全て参考になることばかりでした。特に蘭越町の事例で出た工夫など、やってみたいと思うことがたくさんありました。
- レイアウトやブックスタンドの作り方など、生かせることが多々ありました。
- 委員会活動の例は参考になりました。是非、後期から活用したいと思いました。
- 本の除架作業を体験し、どのように古い本を扱い、新しい本を配列したらよいか分かりました。

【感想・意見】

- ・分掌として初めて図書担当となり、戸惑うことばかりでしたが、今回の研修に出たことでとても参考になりました。
- ・学校だけでは限界があるということがはっきりしています。是非、町の関係者等にもこういった研修を受ける機会を

増やしてもらいたいと思います。

- ・他の学校の本棚がどのように分類・表示されているのか、知る機会があれば交流したかったです。